

平成22年2月

宮本哲也 学位論文審査要旨

主 査	黒 沢 洋 一
副主査	紀 川 純 三
同	岸 本 拓 治

主論文

メタボリック症候群とがん罹患に関する後ろ向きコホート研究

（著者：宮本哲也、尾崎米厚、岡本幹三、田原文、岸本拓治）

平成21年 米子医学雑誌 60巻 224頁～231頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は、地域住民を対象とした健診データ及び、地域がん登録によるがん罹患データを用いて、後ろ向きコホート研究の手法により、メタボリック症候群ががん罹患のリスクとなっているか否かについて検討したものである。その結果、男性の胃がん、男女の直腸がん、女性の乳がんとの関係が認められた。このうち特に、メタボリック症候群と乳がんとの強固な関係が認められ、メタボリック症候群は乳がん発生の危険因子になっていると考えられた。本論文の内容は、住民健康管理におけるメタボリック症候群のいっそうの重要性を示唆するものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。